港からの陸送（ドレージ）の手配について

輸入ドレージの安定した手配に向けた「手配の流れ」のご提案

ドライバー不足・港湾の混雑・本船の遅れが重なり、希望日に車両を手配しにくくなっています。背景と、弊社の手配の流れをご紹介します。

ドレージ手配が難しくなっている背景

ドライバー不足

海上コンテナ車両の稼働台数

約1割減（前年比）

高齢のドライバーの引退が続く一方、海上コンテナの輸送にはけん引免許が要るため、担い手がすぐには増えません。動ける車両が減り、依頼が重なる日には空きが出にくくなっています。

港湾の混雑と待機

東京港「青海公共A3ターミナル」の待機時間

平均約4時間（最大9時間40分）

コンテナの搬出入はゲートで順番に受け付けるため、車両が集中すると列ができます。待っている時間も労働時間に数えられ、2024年4月からの時間外労働の上限に早く届きます。その分、1台が1日に運べる本数が減ります。

本船の遅れ

遅れた本船の平均遅れ日数（世界全体・2026年8月時点）

6.8日（定時到着は約5割）

本船が遅れると、コンテナを港から出せる日も後ろへずれます。押さえていた車両の日程が合わなくなり、運送会社に変更をお願いすることになります。変更が重なると、移した先の日にも空きが少なくなります。

弊社のご提案：遅れを見込んで先に押さえる「手配の流れ」

遅れを見込んだ納品日で早めに車両を押さえると、希望日に車両が取れない事態を避けやすくなり、手配し直しも減ります。
弊社では次の流れで手配しています。

① 仮手配
到着予定日（ETA）の約1か月前

5〜7日程度の遅れを見込んだ納品日で、先に車両の枠を押さえます。

② 運航状況の確認・調整
ETAの7日前

本船の最新の運航状況を確認し、遅れが分かればその時点で納品日を調整します。定時に着きそうな場合は、納品日を前倒しできるかも確認します。

③ 搬出・納品
納品日

押さえた車両でコンテナを港から搬出し、お届けします。

変更・キャンセルの締切： 搬出日（港からコンテナを出す日）の5日前までに、手配先の運送会社へ連絡を入れます。

ドレージの手配でお困りの際は、他社で手配中の案件も含めて、弊社担当営業までご相談ください。

「トラックが見つからず港にコンテナが滞留している」「希望日に納品できない」「フリータイム（港で無料で置いておける期間）が短い」といったお悩みがあれば、弊社のネットワークを生かして手配をお手伝いします。

2026 社員紹介

今年ジャパントラストに加わったメンバーを紹介します！

NEW MEMBER

小笠原 美奈 Mina Ogasawara

皆様、初めまして！ジャパントラストでインサイドセールスを担当しております、小笠原美奈と申します。
仕事では、主に海上輸送のお見積もりや運賃の確認、ブッキング手配のサポートを担当しています。まだまだ勉強中ですが、社内外との連携を大切にしながら、お客様のご要望に迅速かつ丁寧にお応えできるよう努めてまいります。
趣味はおいしいものを食べることで、最近は宇都宮まで餃子を食べに行ってきました！今月は京都旅行を予定していて、今から楽しみです。おすすめのお店やスポットがあれば、ぜひ教えてください！
お仕事のことはもちろん、食べ物や旅行のお話もできたらうれしいです。これからどうぞよろしくお願いいたします！



【11月のアメリカの祝日】　11月11日(水)：退役軍人の日／Veterans Day　11月26日(木)：感謝祭／Thanksgiving Day